

## 平成 30 年度果樹研究センター研究成果発表会の開催

平成 30 年度果樹研究センター研究成果発表会を8月28日(火)、当センターにおいて開催しました。今回は、平成 29 年度に普及に移す技術として発表した7課題の中から、下記の3つの研究課題について発表しました。

### 【発表研究課題】

- ① リンゴ「ふじ」の日焼け果発生軽減技術 (副主幹研究員 大城 克明)
- ② コンテナ栽培小粒イチジクの超早期成園化技術 (主任研究員 徳満 慎一)
- ③ ナシ黒星病の落葉処理による被害軽減対策 (主任研究員 舟橋 志津子)

また、関連試験ほ場の見学や7課題の普及に移す技術についてポスター展示するとともに、展示会場では、注目品種の展示、試食を行いました。



研究成果発表の様子

発表会当日は、果樹生産者をはじめ、県や市町村、農協、農業共済組合など関係機関も含め50名を超える参加者があり、果樹研究センターの試験研究に理解を深めていただくとともに、「県独自の品種を開発して欲しい」などの提言も含めて忌憚のない意見をいただきました。



### 【試験園地の見学】

- ① コンテナ栽培小粒イチジク試験
- ② ジョイント栽培試験
- ③ リンゴ「ふじ」の日焼け果発生軽減試験



### 【注目品種の展示・試食】

- リンゴ : 紅みのり  
イチジク : コナドリア  
ブドウ : ブラックビート  
          シャインマスカット  
          クインニーナ  
ニホンナシ : ほしあかり